



NO. 849

由倉労組発行
2011年
4月14日

発行責任者
加藤賢一



チャリティー

支援慰労会

足元の悪い中、東日本大震災の支援
会が会社食堂にて九日(土曜日)に行
われました。

須賀さんの開会の挨拶で始まり村上
統括の挨拶「がんばれ日本」との掛
け声と共に乾杯しました。東海塗装
由倉工業の差し入れも、また由倉労
組から豚汁を振る舞いました。開始
三十分頃に南部社長もみぎを挨拶をい
ただき、おおよそ二時間思う存分楽し
んだ後、
藤沼さんの三本締めで終わりました。
義援金も皆ごらんから協力頂きました。



一一春闘勝利

中央総行動に参加

して

四月六日経団連前から始まった今年
の春闘勝利・中央総行動は、「東日本
大震災被災者への支援と原発即時停
止、エネルギー政策の転換、生活で
きる賃金、労働者派遣法の改正」を
掲げ取り組まれた。

経団連前に到着した時にはもう多
くの参加者が集り行動開始を待つて
いました。

定刻に行動は始まりましたが経団連
入り口には多くのガードマンが並び
ビルの中には人影はありません、い
つもの光景と思いがちながらも労働
組合と真摯に話し合うと言ふ事出来
ないのかと思います。

経団連への要請行動でもガードマン
以外は関わらず、ガードマンも要請
文の受け取りは出来ず押し問答が続

きました。郵送なら受け取ると言
う事になったようで必ず返事をくれ
るようにと要請して経団連前の行動
を終える。

要請文には「貴団体が企業の社会
的責任を自覚し、企業第一・利益第一
という姿勢を転換して、一層深刻
化する格差社会、貧困化の解消に尽
力する」を旨指して具体的に十項目
を挙げて真摯な回答を求める物であ
った。

郵政本社前、首都高速会社前でも
労働者の現状が報告され会社への抗
議と要請行動が行われたが、会社の
労働者の声など聴く耳を持たないと
言う態度には変りが無く、これから
も抗議と要請行動に取り組まなくて
はと感した。

厚生労働省への要請行動では、担
当者が要請団の前に姿を見せ、要請
文を受け取ったが労働者を守るべき
厚生労働省が労働者を貧困へと追い
込む通達を出していたとの報告もな
された。

被災者支援へ

全統一労働組合が行っている名無し
の救援団についての報告

現在までに三回の物資の救援活動を
行い、現在在庫も欲しい物資は、軍手、
男女下着

履物長靴、靴、スニーカー、サンダ
ル、ズボン、カップ麺

レトルト食品、乾電池など

送付時のお願ひ、

支援物資はダンボール等に梱包し

「支援物資」と表記し内容を明記

して下さい、

支援物資送り先、

T271-0064

千葉県松戸市

上本郷289-3

義援金については、組合事務所でも

受け付けています。

